

# 地域医療支援センター だより

Vol.30 2020年春号



## センター長の一言

新型コロナウイルスのために大きな影響が出ています。風評被害の恐ろしさを実感しました。医師会からの働きかけや新聞、テレビで事実を報せていただき沈静化した印象です。

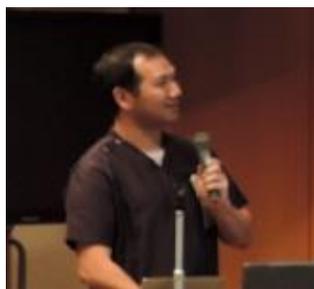
デマに惑わされることなく情報を正しく見極め、必要な対応を行っていくことが大切と再認識しました。個人的にも現場対応や調整などで、疲弊がないと言えば嘘になりますが、地域で協力し「医療崩壊」だけは避けたいと切望しています。

平成31・令和元年度も大変お世話になりありがとうございました。年度替わりに当たり、当院も人員の異動、診療体制の変更がございます。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご確認、不明な点は当センターにお尋ねいただき、新年度も密接な連携をよろしくお願い申し上げます。

## 開放病床運営委員会開催



脳神経外科吉田医師



整形外科大成医師

1月30日（木）に令和元年度公立能登総合病院開放病床運営委員会を開催しました。

前半は、当院の診療内容について脳神経外科の吉田医師による「石川県能登地区の地域中核病院における脳血管内治療の現状」と、整形外科の大成医師による「骨粗しょう症について～治療継続率をふまえて～」として発表をさせていただきました。

後半は、令和元年度の開放病床利用状況や紹介率及び逆紹介率などについて報告を行い、登録医の先生方から貴重なご意見をたくさん頂き、今後の連携業務に活かしていきます。



ご参加、ありがとうございました。



## 地域医療支援センターのご紹介

地域医療支援センターは、4つの係で組織されています。改めて、簡単にご紹介いたします。

### ①地域医療連携係

患者さんがスムーズに、当院や開業医、専門医療機関へ受診・入院できるように調整・支援を行っています。

例えば

- ・紹介患者の受診調整
- ・大学病院等への転院調整
- ・院外と診療情報のやりとり
- ・地域の医療機関と顔の見える関係づくり

### ②医療福祉相談係（MSW）

外来・入院患者さん、その家族が抱える経済的・心理的・社会的課題を一緒に考え、支援・調整を行っています。

例えば

- ・医療費や入院費が払えない
  - ・病気が原因で働けない
  - ・今後の療養先のことなどで悩んでいる
- このような課題を一緒に考えます

### ③介護保険係（居宅介護支援事業所）

介護保険サービスを利用するときには、ケアマネジャーが必要です。院内にケアマネジャーを配置し、短期間で退院調整が必要な方の支援を行っています。

例えば

- ・自宅退院に介護の支援が必要な方のサービス調整
- ・がん等により短期間で調整が必要で、介護、医療サービス調整し自宅退院を目指します

### ④入退院支援係

看護の視点から、病気や障害のある方が退院に向けて適切な医療やケアが受けられるように病棟やMSWとの連携の橋渡しを行っています。

例えば

- ・入院時退院支援カンファレンスの調整
- ・退院調整ミーティングの開催

## CT・MRIにおける検査前の絶食について

今回、当院の造影剤投与マニュアルが一部変更になりましたので、検査前の絶食について改めてお知らせいたします。検査説明の際に、参考にさせていただきご協力お願いいたします。

### 【変更点】

原則として、ヨード造影剤、ガドニウム造影剤投与前の絶食を推奨しない。



部位	造影なし（単純）	造影あり・一任
頭部	不要	不要
頸部・胸部	不要	不要
腹部	検査3時間前から絶食。 水・お茶は摂取しても構いません。 検査が午前中の時は朝絶食、午後の時は昼絶食をご指導お願いします。	検査3時間前から絶食。 水・お茶は摂取しても構いません。 検査が午前中の時は朝絶食、午後の時は昼絶食をご指導お願いします。
四肢	不要	不要
その他	不要	不要

※ 造影あり・一任の場合は3か月以内のeGFRの測定をお願いします。場合によっては単純に変更することがあります。

※ eGFR が30以上であればメトホルミンの継続服用可能